



第61号
発行所
印南宏後援会
我孫子市日の出1131
日本電気労働組合
我孫子支部内
発行責任者 野田 泰造

激動の二〇〇九年も残すところ
二か月余りとなりました。後援会
経つのは早いものです。月日が
の皆様が早いお過ぎでしよう
か。まずは日頃からお支え、ご指導
を賜り、心より御礼を申し上げま
す。

今年三月に千葉県知事選挙、
六月には千葉市長選挙、七月に東
京都議会議長選挙、八月三十日に
第四十五回衆議院議員選挙が行
れました。まさに選挙の一年とな
りました。

広がった政権交代への期待

その中でも第四十五回衆議院選
挙が大勝利し、歴史的な政権交代
劇となりました。「自民党には不
満はあるが、民主党には不安があ
る」と言われたものの、小泉首相
退陣後、このころと首相が入れ替
る自民党政権運営の代表者、そ
して年金記録問題に代表される
後不信、さらには格差拡大や景
不安など深まっている将来に對する
らせてみよ。」「一度民主層にも
の要因が広がったことには民主
の要因が広がったことには民主

ます。決して政策論争だけで勝
利をしたのではないと思っていま
す。

地方の力が問われる。

しかし、これからが問題です。
従来の仕組みと税金の流れが、民
主党のマニフェストが示す通り
変わると、財政の支出先は企業か
ら家計へ大きくシフトしていきま
す。また、国と地方の関係も変わ
り、権限と財源が大幅に地方にシ
フトされ、地方の力が大きく問
われることになりそうです。既に
九月市議会でも、政権交代による
影響が水道料金のあり方や根戸新
田の今後などに微妙な変化を与え
ています。

一方、財政の流れから外れた
企業の削減等で恩恵を受けられな
い地方は大きく疲弊することも想
定されます。また、個人においても
所得税の配偶者控除や扶養控除も
無くなることで、大幅な増税にな
る階層も出てくることになりま
す。まさに陰と陽に分かれること
になります。

改革の成果を出すには時間が必
要ではあります。政
権を任せられた政
党として、民主

党は、政治を変え、国民の視線で
日本の進むべき道を示し、目指す
国づくりに邁進してほしいと思っ
ています。

小選挙区制度

今回の政権交代選挙を地方議員
の一人として見ていると「選挙は
個人の資質ではない」と強く感じ
ています。もちろん優秀な方々が
立候補しているのですが、小選挙
区制の下では、党に逆風が吹くと
議員のこれまでの活動や実績、資
質に関係なく、吹き飛ばされる人
は簡単に吹き飛ばされてしまいま
す。もちろん地盤・看板・カバン
の選挙三要素の強い人は生き残り
ますが、それは極少数です。

小選挙区制は政党が中心となっ
て政策が立案されます。従って、
国会議員一人ひとりの役割は何か
と云えば、政権政党の政策立案過
程をできる限り、透明性を持たせ
る働きをすること、市民にわかり
やすく、できる限り情報公開に努
めることだと思っっています。

ひたすら「政策」を唱えよう

私は民主党連立政権のマニフェ
ストに書かれていることを完全に
実施することは困難だと思ってい
ますし、住民視点で調整の必要
も出てくると思っっています。従
て、むしろ走りながらでも、柔軟
にマニフェストの政策を修正・加
除して機敏に市民生活第一の対
をしてほしいと思っっています。
今回の選挙での一番の感動は、有
権者の一票で「政治を変えられる」
ことを知った事実です。新政権に
は年金や少子・高齢化、地球温暖
化など山積している難問に果敢に

挑戦し、「政治が変わった」という
感覚を市民に与え続ける努力を願
うとともに、身近な政治の実現に
向けて新しい政治の姿を確立して
ほしいと願っっています。

九月議会

九月議会は八月三十一日から九
月十七日までの会期十八日間で行
なわれました。主な議案は①市職
員の育児休業等に関する条例改正
②国民健康保険条例の改正(出産
育児一時金二十八万→四十二万
円)、③文化施設整備基金条例の制
定、④水道事業給水条例の一部改
正(水道料金、開栓手数料の値下
げ)、⑤農業委員会委員の定数削減
条例(十五名→十二名)、⑥補正予
算七億九千万円の計上、そしてそ
の他として我孫子北区域近隣セン
ター建設工事費二一百万円での
請負契約締結(上村建設工業と締
結)が挙げられます。

このうち、補正予算の中で新規
就農支援事業として計上されてい
る「養豚場予定地の取得」は是非
にくわえて、養豚場を経営する農
業生産法人が既に解散されている
ことや市が取得することによる他
地区への波及問題などが、市議会
を二分する争点となりました。

是非、ご覧下さい!!!

◆我孫子市 公式ホームページ
<http://www.city.abiko.chiba.jp/>

◆印南宏市議 HP/ブログ
<http://hiroshi4649.at.webry.info/>

◆印南が代表を務める
「あびこ21」ホームページ
<http://abiko21.exblog.jp/>

九月議会で水道料金 値下げ決定!!

〈水道料金の改定と八ツ場ダム〉

水道料金給水条例の一部改正(値下げ条例)は、五月十二日水道事業運営審議会に料金見直しの諮問を市長が行い、料金の見直し案についてパブリックコメントを実施しました。そして、その意見を考慮し、当初の料金案の一部変更し、九月議会で給水条例の一部改正案が提出され、可決成立されました。これにより、平成二十二年四月より、平均七・八六%の値下げが決定いたしました。

今回の値下げ・料金体系見直しの理由は、平成八年八月一日に料金改定から今日まで水道局が安定した利益を計上し続けていることにもありますが、平成二十年度から水道局が水を購入している北千葉広域水道企業団の受水費が減額となっており、ライフスタイルの多様化から十立米以下の利用者の節約の努力が報われないことなどから使用水量に応じた料金制度を望む声が多く寄せられています。

受水費の料金算出には水の原価計算を行っていますが、現在の北千葉広域水道企業団は、事業中止の是非で議論を呼んでいる「八ツ場ダム」建設事業の総事業費四千六百億円に対する建設時出資金の負担も計算の一部に入っています。我孫子市は利水団体の一つとして、北千葉広域水道企業団負担分の七%負担を課せられ、昭和六十二年から平成二十年度まで、七千四百八十万円支出済みです。計画では今後、平成二十七年度まで、総額一億七千九百九十万円を我孫子市は負担することになっていました。

「再考」の対象になっていません。各所のダム事業中止の是非もその一つで、行政の停滞につながる恐れもありますが、変革に向けたチャンスでもあります。はたして必要なのはダムなのか、それとも長期にわたる工事費や振興策の方なのか、費用対効果を厳密にチェックしたうえで「選択と集中」をしなければなりません。ただし、この「八ツ場ダム」に関しては、遅きに失した感があります。

「八ツ場ダム」に関しては、国の動向も踏まえ、建設中止となった際には、我孫子市として支出した建設時出資金については返還を求めていくのは当然なことだと考えています。

印南 宏は九月議会で 会派あびこ21を代表して、 質問・提言を行いました

代表質問 〈主な内容〉

私は、九月議会において所属会派である「あびこ21」を代表して次の質問・提言を行いました。以下の※印の質問・提言内容について抜粋して掲載し、一端をご紹介します。

(市側の回答を含む詳細の議事録は、別途我孫子市議会の冊や「議会たより」などを参考ください。)

参考：我孫子市議会
http://www.city.abiko.chiba.jp/index.cfm/15_496_77.html

【基本構想の見直し／新型インフルエンザの対策／介護保険事業／※市民バスと地域公共交通戦略／市民会館の整備／日本女子オープンゴルフ選手権大会とまちづくり】

○市民バスと地域公共交通戦略について(誰もが移動しやすい街、我孫子を実現へ)

我孫子市の市民バスは、平成十七年十二月から新木地区(新木野)にモデル運行をしたのを皮切りに、平成十八年四月から本格運行、平成十八年一月には栄・泉・並木ルートと台田・船戸ルートが新たに加わり、三ルートになりました。そして昨年十二月土谷津地区(布施)に四番目のルートを開通させ、現在に至っております。

平成十七年三月(十六年度)には「市民バス等運行指針報告書」が出され、市民バスの基本方針、新たな市民バスの路線、運行経費や水準、運行主体などを含めて、この指針のもとで現在まで市民バスが運営されてきました。平成二十一年度から平成二十二年度にかけて、この市民バス等運行指針が本格的に見直しされる予定となっております。

見直しの前年度である今年度(二十一年度)は「運行指針見直し検討委員会」が事業として行われることになっていますが、何らかの理由によって検討委員会の設置が若干遅れているようです。超高齢化社会が急速に進む中で、高齢者の外出支援ということが現在の市民バス運行事業の基本的な考え方であることは私も理解しています。利用者のニーズや社会環境の変化などを考えると、新たなコミュニティバスの在り方が今問われているような気がしてなりません。市民バスだけが高齢者の移動手段ではありません。路線バス網の充実や道路輸送の各種方策も総合的に見直す必要があると

考えています。

私ばかりでなく国も、地域の公共交通は経済社会活動の基本であり、市民の移動手段の確保、地域活性化、環境問題への対応などは重要な国策であり、喫緊の課題として受け止めていくようです。

その証拠に、平成十九年十月には国は「地域公共交通機関の活性化及び再生に関する法律」を施行し、二十年度にはこの法律を活用して取り組んでいる自治体・協議会にはパッケージで一括支援する新たな国からの支援制度までスタートさせています。

今回の運輸指針に関する本格的な見直しに際しては、市民バスである「あびバス」のみに着目した見直しをするのではなく、東西に細長いという当市の地勢上の観点、成田線の利便化が遅々として進まない現状を十分考慮しつつ、市内の公共交通に十分考慮しつつ、移動の制約者・地域の状況、及びJR駅施設の状況や歩行環境等についても十分に検討した上で、公共交通のあり方とそとの「市民バス」の果たす役割を明らかにすることが大切だと私は考えています。つまり、公共交通の利便性を高めることを通じて、市民の「生活の質」の向上を目指した我孫子市の地域公共交通戦略を策定すべきと思っております。

具体的には我孫子市も改正道路運送法に基づき、地域公共交通会議を早期に設置し、国の施策である「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用するなど、地域交通の抜本的な見直しを行い、誰もが移動しやすい街、我孫子を実現するための貴重な見直しの機会にすべきであると考えています。

印南 宏 現在の主な役職

市議会「あびこ21」会派代表
 市議会教育福祉常任委員
 決算審査特別委員会副委員長
 我孫子市成田線を便利にする議員の会副会長
 連合千葉議員団 幹事長
 電機千葉議員団 前幹事長
 我孫子市サッカー協会 顧問
 我孫子市ソフトボール連盟 顧問
 新聞奨学生OB会相談役 (前会長) 他

宏はこう考える

千葉県の不正経理を問う!

千葉県は昨年秋の内部調査開始から一年をかけた、今年九月七日、請求書と異なる物品を購入するなどの県庁の不正経理の額が平成十五年度から五年間で約三十億円に上ることを明らかにしました。

不適正な経理処理は、県庁四百一十部署のうち大半の三百八十三部署で行われており、そのほとんどが事務用品の発注を装って他の用途に金銭を流用したものであり、判明した三十億円のうちには私的流用・使途不明金も一億二千二百万円にのぼっています。会計検査院準拠区分(支出ベース)で見ると、不適正な経理処理の手の多くは架空発注等で業者に公金をプールする方法(「預け金」)契約した物が納入されていないのに納入し

たことにして、業者に代金を支払った後、物品購入の代金等として業者者に管理させるなどしていたもので、この額が十八億円となつています。また、調査時点で業者者にプールされているお金の残高は四億千八百万円、県庁各課に不正に蓄えられた現金・金券等も四千四百万円となつています。しかも、不適正な経理処理については、県警や監査委員事務局など不正をチェックするべき部署も含まれており、公金に対する金銭感覚の欠如が県庁全体に蔓延していることに大きな衝撃を受けました。

千葉県は財政難を理由に、この五年間、県民サービスを次々と切り捨ててきました。その一方で私的流用を含めて、さまざまな「予算の目的外使用」が平然と組織的に行われ、しかも昨年十月初知事の不正経理内部調査を指示した以後も不正な経理処理が県職員の手によって脈々と続けられてきました。県の自浄能力のなさが改めて浮き彫りになりました。

「預け金」等の不正な経理処理の背景には、年度内に使われなかつた国の補助金は返還する必要があることが挙げられています。補助金を使い切つた形式にしようとするものがあつたにせよ、私は、県議会と執行部の緊張感のなさ、この慣行に目を瞑る悪しき両者の体質、そして本来であれば公金の使用に目を光らせるべき監査のあり方に、このような不正経理横行の大きな背景があつたと考えています。今回の事件は単に千葉県だけの問題ではなく、税金を納付してもらおう立場の全国の自治体、市町村に多大な悪影響を与えるものとなつていきます。

千葉県は十月中に新組織を設けて全費目の特別監察を実施すると決まっていますが、県議会としても百条委員会等を設置し、議会として事件の全容解明に全力を尽くすことが必要です。その上で、悪しき慣習を打破するための対策、職員の見直し、返還請求、監査委員会のあり方を含めて抜本的な対策を早急に実施する必要があると、地方分権を進める上で自治体は自浄能力を示す必要があります。職員の法令順守の意識を徹底させることが今、不可欠となつていきます。

※百条委員会とは都道府県及び市町村の事務に関する調査権を規定した地方自治法第百条に基づき、地方議会が議決により設置した特別委員会の呼称。



〈宏の独り言〉

政治家のメッセージに思う!

政治家の挨拶というとかと煙たがる人が多いと思います。その中でにあっては、日本では、小泉元総理の言葉が印象に残っている方も多いと思います。会話をするときでも身振り手振りを交え、一言ひとことを短く、簡潔に、言い

たいことをわかりやすく表現する喋り方、例を挙げれば「感動した」、「抵抗勢力」、「私が、小泉が、自民党をぶっ潰します!」など「ワンフレーズ」の言葉が印象的ではなかつたでしょうか。

最近の政治家では何と言つてもバラク・オバマ氏の演説は聴衆を魅了する評判になつています。何故なのでしょう。か? 相当な訓練と用意周到な準備に加えて、若い優秀なスピーチライターが付いているからなのでしょう。か?

確かにそれらは理由の一つと思われませんが、政治家は自らの意思、情熱で進化していくものと考え、と、私には本人の持つ天性の力があるようにも思われてなりません。

英語に弱い私でも、彼の絶妙な「間」の取り方、演説の前半に聴衆に呼びかける際に褒めることを忘れないことや、自らの夢と理想を徐々に早口、そして大きい声へ! 盛り上げていく手法はすばらしいものがあると思えます。また、壇上での立ち振舞いは、まるで牧師や宣教師になつたようです。そして、「若者と年配者」「富と貧困」「黒人と白人」など対照法の使い方、そして、小泉さんと似ている「単純なメッセージ」の繰り返しもオバマ演説の特徴と言えます。

そんな中で、先日、お邪魔をし、「鳥とまちづくり」についてご指導をいただいたコウノトリで有名な兵庫豊岡市の中具市長のメッセージも感動した言葉として強く印象に残っています。豊岡市で副市長候補をインターネットで広く募集した際の呼びかけの言葉です。「豊岡市は人口規模が小さくても世界から尊敬され、尊重される『小さな世界都市』を目指している



ます。財政力は強くありません。過疎化と高齢化と少子化にも苦しんでいます。しかし、私たちは豊岡の可能性を信じています。私たちの夢の実現に向けて副市長として夢を共有し、一緒に汗を流していただけている副市長像は「優れたコ―チ―」です。」

政治家のメッセージ・スピーチで大切なことは夢を語り、情熱で未来を語ることにあります。私は強く感じた次第です。

【追伸】豊岡市が全国公募した副市長候補に全都道府県およびアメリカから、千三百七十一名(男性千二百八十四名、女性八十七名)の応募があり、今年九月十五日、真野毅(五十三歳)さんが副市長に決定されました。

◆「もしも、あなたが都心で地震に遭遇したら、歩いて家族の待つ自宅に帰れますか?」この言葉に誘われて九月二十六日、二〇〇九首都圏統一帰宅困難者対応訓練に参加した。昨今、地震災害をはじめとする自然災害の発生頻度が高まり、とりわけ「災害時における帰宅困難者課題」が大きくクローズアップされている。首都圏直下地震が発生した場合の帰宅困難者は数百万人とも言われている。当日は日差しが強い中、日比谷公園に午前九時に集合した約四千人が、千葉・埼玉・神奈川・東京の四つの訓練コースに挑戦だ。私はもちろん千葉コースに参加し(約千人

のグループ)、日比谷公園より葛西橋通り、千葉市川市、行徳駅前公園まで約二十キロ、約四、五時間のコースをたどった。途中五キロ間隔でポイントがあり、ボランティアの方々が水の補給、防災グッズのプレゼントがあった。昼食は炊き出しで、缶詰一缶、ご飯とみそ汁を途中の休憩所でボランティアさんから配給。都心を出るのに時間を要したが最後まで歩くことができた。実際の災害時、途中に架かっている橋は落ちていないのか、歩道はガラスやコンクリートの片で歩くことができるのか、ビルの倒壊など、いろいろと考えさせられる訓練であった。大切なことは突然、何時やってくるかわからない災害に対して、普段から、会社のロッカー等に歩きやすい靴、ザック、緊急グッズを用意しておくなど周到な準備、心構えが必要であることは言うまでもない。「災害はいつとも忘れた頃にやってくる」

◆「第四十二回日本女子オープンゴルフ競技選手権」が我孫子ゴルフ倶楽部で十月一日から四日まで盛大に開催された。大会は日本代表する女子プロ・女子アマのトップレイヤ―をはじめ、多くの大会関係者・お客様(約四万人)が我孫子市を訪れてくれた。私は九月市議会での次のような質問を行った。「このイベントは我孫子市を内外にPRする絶好のチャンスの一つであり、二箇所設けられる入場口では「我孫子ガイドマップ」をはじめ、鳥博や白樺文学館などを市内各施設のパンフレットやチラシを配布することになっている。このようなビッグイベントをうまく活用しながら、我孫子市のPR

を含め、来訪者へのおもてなしと性化にどう結びつけていくのか、など、まさに知恵の出どころのイベントである。そしてゴルフというスポーツは我孫子市と大変に縁が深い関係がある。世界の青木を生んだ名門、我孫子ゴルフ倶楽部が存在することはもちろん、ゴルフのバーディー、イーグルといったゴルフ用語も元はすべて鳥(バード)に関連した言葉が由縁である。「人・鳥・文化のハーモニー」を将来都市像とする当市にとつて、このイベントを通じて、新たな郷土愛が生まれるような大会になればと考えている。」大会は最終日、横峯さくらと宋ボベのプレーオフとなり、大変な盛り上がりの中、宋ボベが優勝、成功裏に終わった。この大会を通して多くの市民の皆さんや商工会、市役所関係者の方々による一生懸命のおもてなしが行われた。我孫子市と言う街をどんな印象でお帰りになったのか、今後、答えが出るものと思っ

◆先日、市内在住のTさんから一冊の本をいただいた。本の名前は「彩雲のかなたへ」。Tさんは太平洋戦争時代、海軍偵察機の乗員。この本は語りられることの少ない偵察機の戦いを記述した本であった。平和の尊さを記述した本で、私たちが戦後生まれの者が全く知らない真実の戦争という悲惨な出来事を通じて、Tさんご自身の実体験から読みとれる生死をかけた文章に最初から最後まで圧倒された。海軍航空兵として入隊、その後、すべてを偵察機乗りとして生き抜いたTさんの語られる戦争の真実、予科練、班長や教員に対する感謝

の気持ち、多くの戦友や上官に対する人間愛など、途中、何度か、あふれ出る涙を抑えることができない。電車の中では涙を見られないように苦労した。遥か洋上を単機で行動し、最後を見届けてくれるものもない。偵察機を水偵、二式艦偵、彗星、彩雲と乗り継いで、ソロモンの海戦を戦い、敵制空権下六千キロの挺身偵察を成功させたTさん。私たちは多くの精霊によつて現代を享受している、今日の平和をもっと大切にしなければいけない、そして二度と悲惨な戦争を繰り返すことのないように、一人ひとりが平和の尊さを理解し、行動していかなくてはならない。この本を読んであらためて平和の尊さを痛感した。感謝◆

宏

宏と語る
小さな小さな
ティーパーティー
受付中!!

〈お気軽に声をおかけください〉
印南 宏 後援会
〒270-1198
我孫子市日の出 1131
(日本電気労働組合我孫子支部)

印南 宏 自宅
布佐平和台7-1-8
TEL 7189-1598
E-MAIL innami@mqd.biglobe.ne.jp


